



## テント倉庫の施工について

今号も引き続きテント倉庫の工事を紹介します。前号では着工から鉄骨組上げまでをご説明しました。第3回目の今号ではテント膜材をメインに、展開から設置までをご説明します。

### ③ 本体膜材 展開～設置

組み上げた鉄骨に膜材（テントシート）を設置します。膜材は軽いため、鉄骨造に比べて短い期間で工事は完了します。しかし軽いとはいえ大きい倉庫ですと、膜材全体でゆうに500kgを超えます。このため吊り上げにはクレーンを使用します。膜材の設置位置、展開する手順は工事前に打合せ、膜材をたたみ吊り上げます。一度、膜材を広げてしまうと現場でのたたみ直しがほぼ不可能なため、たたむ方向と順番、積み荷を降ろす配置は非常に重要なポイントです。膜材は展開後、ロープで鉄骨に編み上げて固定していきます。



膜材の展開



ロープ編み

### ④ 妻面膜材 展開～設置

続いて妻面の膜材を展開します。展開の方向や設置位置で膜材のたたみ方を決定するのは本体と同様です。固定もロープで編み上げていきます。最後に本体と妻面の合わさる隙間部分から雨水が入り込まないように、本体側の膜材を少し長く作成し、妻面に付けたポケットに編み上げて雨水の侵入を防ぎます。（オーバーラップ）

#### オーバーラップ



編み前



編み後



次号はオプション設置～完工までの流れを紹介いたします。